

ASEAN諸国における 産学連携体制の国際比較と提案

1967年設立の追手門学院大学オーストラリア研究所は、本邦初のオーストラリアに特化した研究機関として、国内外で高い評価を受けてきました。その成果を発展的に引き継ぐとともに、「独立自強・社会有為」という本学院の教育理念の実現のため、グローバル化と国際社会の変動に対応した研究・教育活動を企図して2015年4月にオーストラリア・アジア研究所を設立いたしました。

当研究所は、これまでのオーストラリア研究所における教育研究の実績を生かしつつ、オーストラリア、アジアを対象とした学術研究並びに相互理解と学術文化交流に寄与する活動を行うとともに、その成果を広く社会並びに教育に還元することを目的としています。

今回はそうした中で、ASEAN諸国にフォーカスをあててマレーシアの大学の研究者から講演いただき、本学教員・大学院生・学生も加わってシンポジウムを開催します。皆様ふるってご参加ください。

プログラム

15:00

コーディネーター

藤川 武海 (追手門学院大学オーストラリア・アジア研究所員/国際教養学部准教授)

15:10

15:40

ASEAN諸国の大学とのコラボレーションのための産業ニーズ
Industry's Needs for Collaboration with Universities in ASEAN

アンジェリーナ・イー博士 Dr. Angelina Yee Seow Voon

(ノッティンガム大学マレーシア校/ビジネススクール准教授
Associate Professor, Nottingham University Business School, The University of Nottingham Malaysia Campus)

15:40

16:10

日本とASEAN諸国との産官学連携

Academia, Industry and Government Collaboration between Japan and ASEAN

チョン・アイ・リー博士 Dr. Chong Aik Lee

(国際マラヤ・ウェールズ大学/学部長
Dean, Faculty of Business and Law, International University of Malaya-Wales)

16:10

16:40

政府系研究機関が取り組む産学連携の研究レビュー

A Systematic Literature Review of Collaboration
between Government Research Institute and University and Industry

ベネディクト・ベイ氏 Mr. Benedict Bay Tong Hai

(PROGRESS LINK TRAINING & CONSULTANCY株式会社/創業者・CEO)

16:40

17:00

質疑応答および総合討議

2017年12月19日 火

15:00~17:00(開場14:30) **参加無料 定員50名**

《場所》

追手門学院大学 1号館3階 会議室5



《お申し込み》

件名を「国際シンポ」とし、氏名・住所・電話番号・メールアドレス・所属(任意)をご記入のうえ12月17日(日)までにE-mailまたはFAXにて下記までお申し込みください。 ※定員になり次第締め切ります。

《お問い合わせ》

追手門学院大学 オーストラリア・アジア研究所

〒567-8502 茨木市西安威2-1-15 TEL:072-641-9667(平日9:10~17:00) FAX:072-643-9476

E-mail:cas@otemon.ac.jp URL:https://www.otemon.ac.jp/research/lab/cas/

《個人情報について》

ご応募いただいた個人情報については、法令に従って安全かつ適正に管理し、受講登録手続きおよびご本人またはご家族への連絡、各学校案内や開催する行事のご案内にのみ使用させていただきます。

プログラムの内容については、一部変更となる可能性もあります。ご了承ください。



想像もしなかった自分史がはじまる

おうちでも

追手門学院大学